

ウォシュレット® 一体形便器GGシリーズ

工事店様へ

試運転を必ず実施してください。

確認①

自治体によって洗浄水量の規制がある場合

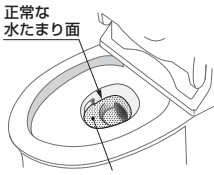
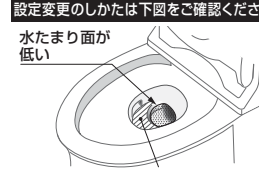
●大洗浄4.8L、小洗浄4L (eco小洗浄3.8L)仕様を「大洗浄6L、小洗浄5L (eco小洗浄4L)」または「大洗浄8L、小洗浄6L (eco小洗浄5L)」に変更することができます。▶12ページ **洗浄水量の切り替え** 参照
※eco小洗浄なしのタイプもあります。

水たまり面が低下した場合の変更方法 の設定をしている場合は、解除(もとの仕様に戻す)してから **洗浄水量の切り替え** の設定をしてください。
また、**確認①** の設定をしている場合は、**確認②** の設定は不要です。

確認②

確認①で設定変更してない場合

大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認してください。

正常な状態	水たまり面が低い状態
<p>設定変更は不要です。 (設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。)</p> <p>正常な水たまり面</p>  <p>この面まで水がたまっている</p>	<p>設定変更を行ってください。 (洗浄水量を変えずに水たまり面を正常な状態にすることができます。)</p> <p>設定変更のしかたは下図をご確認ください。</p> <p>水たまり面が低い</p>  <p>この面(□部分)まで水がたまっていない</p>

〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉
ベットボトルやバケツなどで徐々に水をたし、水たまり面が上昇しない場合は正常です。
※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

水たまり面が低下した場合の変更方法

大洗浄4.8L、小洗浄4L (eco 小洗浄3.8L) のウォシュレット本体操作部

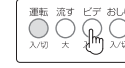


①電源プラグを差したまま、ウォシュレット本体操作部の

- スイッチを押し「切」にする
- 「ピーッ」という電子音が鳴ります。
- ウォシュレット本体表示部のランプがすべて消灯します。



- ②ウォシュレット本体操作部の電子音が鳴るまで押す
- 約10秒で電子音が鳴ります。



- ③設定後はスイッチを「入」にする
- 「ピーッ」という電子音が鳴ります。



(もとの仕様に戻す場合は同じ操作を行い、手順②で「ピーッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)

※この仕様に変更した場合、便器洗浄してから約1分後に便器水たまり面に約5秒間水が流れます。

washLET®

はじめに	2
安全に関するご注意	2
取り付け前のご注意	3
同梱部品	4
各部のなまえ	4
施工手順	5

1 止水栓を取り付ける	5
2 便器を取り付ける	6
3 ウォシュレット本体を取り付ける	6
4 給水ホースを接続する	8
5 アース線を接続する	8
6 電源プラグを確認する	8
7 リモコンを取り付ける	9

試運転	10
給水フィルターの掃除	13
凍結のおそれがあるときの処置	15

- 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。
- 新築などお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。
- 連立対応について(URL) <http://buhin.toto.co.jp/> 「施工方法」の欄「ウォシュレット施工方法(リモコン連立対応など)」をご覧ください。



はじめに

施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けください。






安全に関するご注意 安全上の警告・注意事項を必ず守ってください！

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

【絵表示の例】  してはいけない「禁止」の内容です。  必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

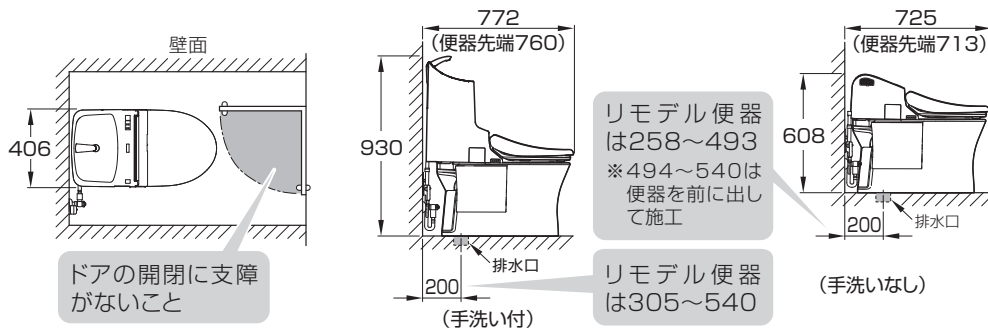
	浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)
	指定する電源(交流100V)以外では使用しない (火災や感電の原因になります。)
	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままでは使用しない (火災や感電の原因になります。)
	水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
	給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
	車輻・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、故障などの原因になります。) (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
	電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)
	アース(D種接地)を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

注意

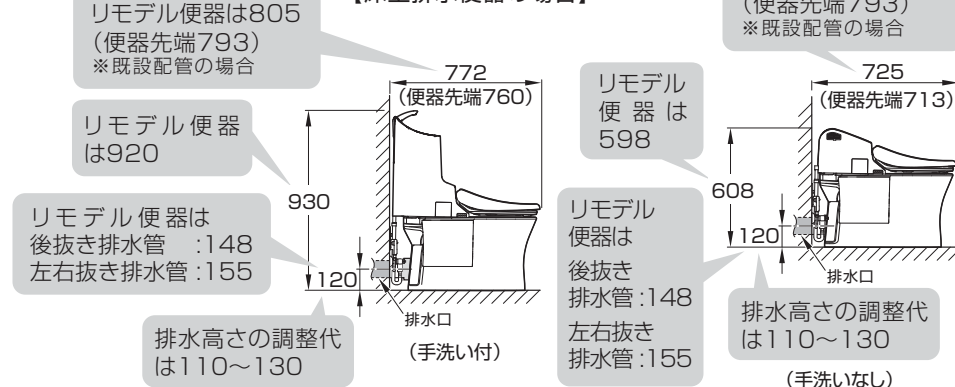
	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)
	止水栓を開けたままで給水フィルター・給水フィルター付水抜栓をはずさない (水が噴き出します。)
	施工は施工説明書に従って確実に (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
	給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)

取り付け前のご注意

【床排水便器の場合】



【床上排水便器の場合】




1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
3. ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
4. 下表の電力に適した配線をしているか確認してください。

電源	定格消費電力
交流100V(50/60Hz)	乾燥なし 324W(ヒーター付便器:359W) 乾燥あり 413W(ヒーター付便器:448W)

5. 電源コードの長さはウォシュレット:約1.0m、ヒーター付便器:約1.1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
6. 給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。給水圧が低いとタンクに水がたまる時間が長くなる場合があります。
7. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
8. 同梱以外の止水栓を使わないでください。
※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

給水ホースの長さが足りない場合

給水ホースの長さは約400mmです。もし給水ホースの長さが足りない場合は、 給水ホースを接続するに長い給水ホースを記載していますので、ご購入ください。

同梱部品

リモコン部品

※リモコン、リモコンハンガーの形状は機種によって異なる場合があります。

ロータンクパッキン

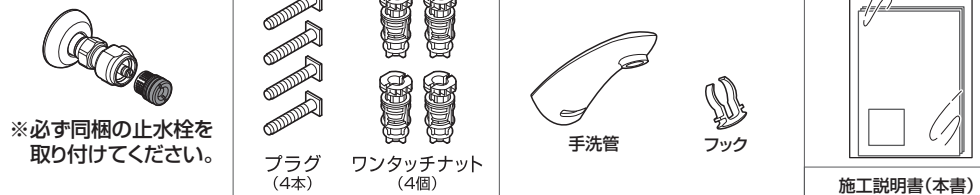


止水栓(フィルター付)

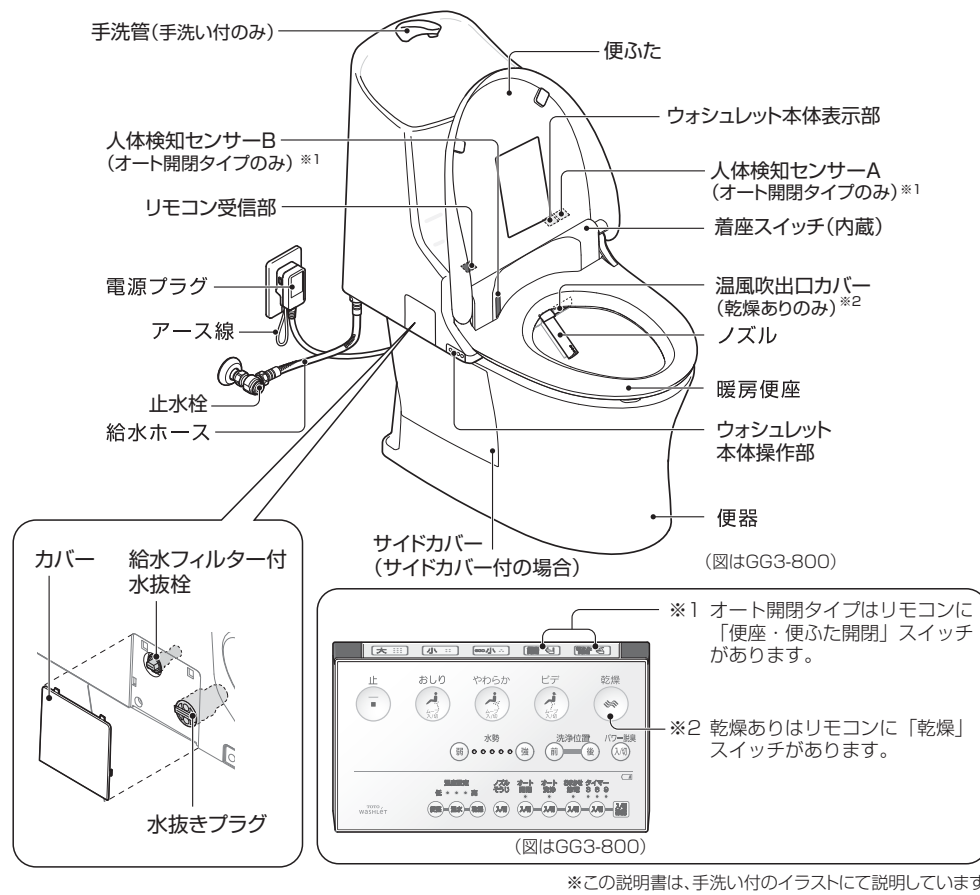
取付ボルト組品

手洗管組品(手洗い付のみ)

印刷物組品

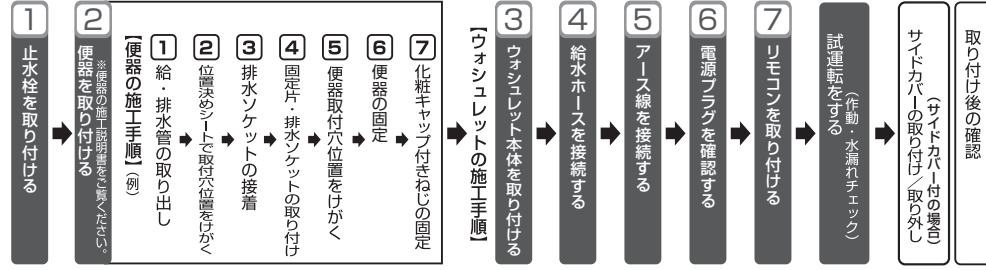


各部のなまえ



施工手順 この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。

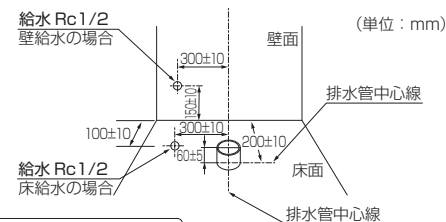
(□は便器、■は本紙の施工説明書を参照ください。)



1 止水栓を取り付ける

1 給水金具と排水管の位置を決める

※給水口と排水口は、ゴミなどが入らないよう、ビニールなどをかぶせておいてください。



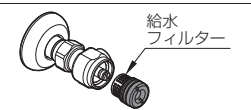
リモデルのときは…

便器の施工説明書の取付範囲を確認してください。

2 止水栓を取り付ける

注意

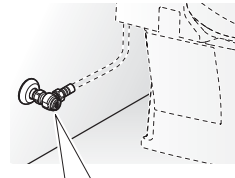
必ず同梱の止水栓(フィルター付)を取り付けてください。



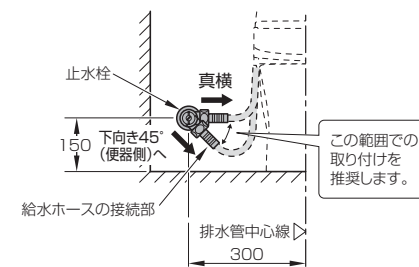
取り付け前に…

止水栓を取り付ける前に、給水管内のゴミ、砂などを完全に取除いてください。同梱の止水栓を必ず取り付けてください。

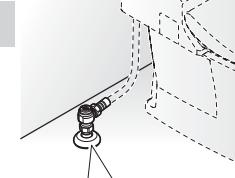
壁給水



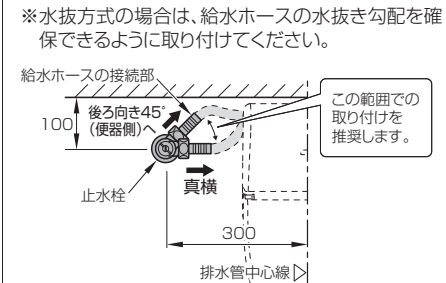
給水ホースがきちんとおさまるように下図の範囲で給水ホース接続部を折れ曲がらないように取り付けてください。



床給水



給水ホースがきちんとおさまるように下図の範囲で給水ホース接続部を折れ曲がらないように取り付けてください。

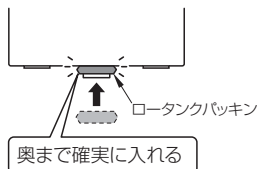


2 便器を取り付ける

便器の取り付けかたは、便器側に同梱の「便器の施工説明書」をご覧ください。

3 ウォシュレット本体を取り付ける

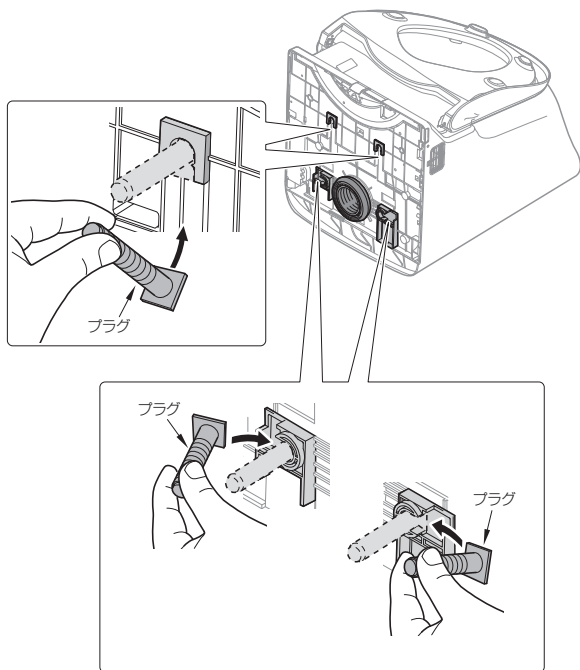
1 ウォシュレット本体底面にロータンクパッキンを取り付ける



注意

ロータンクパッキンは図のように正しく取り付けてください。正しく取り付けないと水漏れの原因になります。

2 ウォシュレット本体底面にプラグ(4本)を取り付ける



3 ウォシュレット本体を取り付ける(つづき)

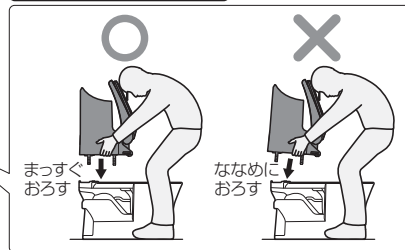
3 ウォシュレット本体を便器に取り付ける

ロータンクパッキンが取り付いているか確認

ウォシュレット本体

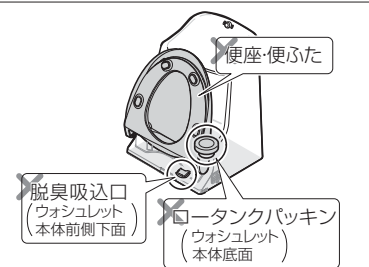
便器給水口周辺のゴミを取り除く

ウォシュレット本体前側



注意

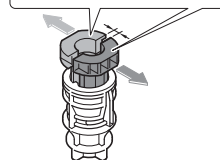
- パッキンおよび給水口周辺のゴミは必ず取り除いてください。また、便器にウォシュレット本体を取り付けるときは、必ずまっすぐおろしてください。パッキンがめくれたり、漏水の原因になります。
- ウォシュレット本体を持ち上げるときは、右図の場所は持たないでください。便ふたがはずれたり、製品が破損する原因になります。



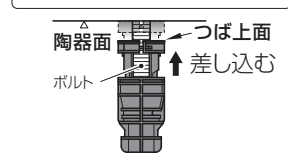
4 ワンタッチナットでウォシュレット本体を固定する

※後側2カ所を先に固定してください。その後、便座の位置を合わせて前側2カ所を固定してください。

①つばが広がっていることを確認する



②つば上面が陶器面に当たるまでボルトに差し込む



注意

ワンタッチナットを締め付けるときは必ず手で行ってください。工具を使用すると破損の原因になります。

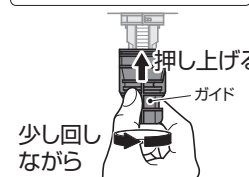
確認!

※ウォシュレット本体のガタつきがないことを確認してください。

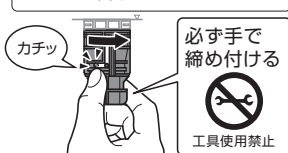
取りはずすときは...

ウォシュレット本体を取りはずすときは、ワンタッチナットを手で取りはずしてください。工具を使用しないでください。

③ガイドを少し回しながら押し上げる



④「カチッ」と音がするまで(クリック感があるまで)ワンタッチナットを指先でしっかり締め付ける ※左右が確実に締まっていることを確認してください。



5 手洗い用の手洗管を取り付ける(手洗い付のみ)

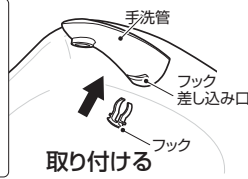
注意

手洗管は必ず手で取り付ける

①保護キャップをはずす



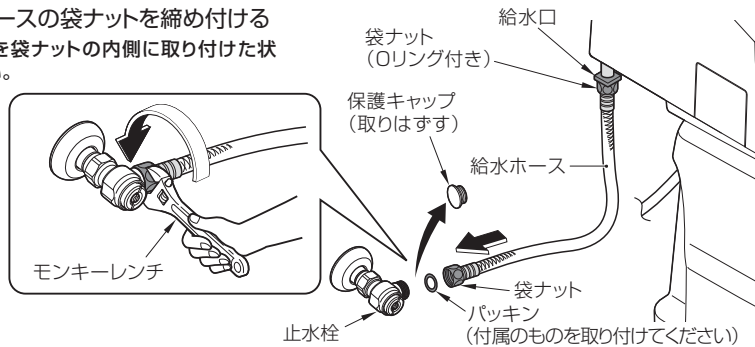
②手洗管を奥まで差し込んだあと、フックを取り付ける ※取り付け後、手洗管を軽く引っ張って、はずれないことを確認してください。 ※接続部を水でぬらしておくと、手洗管が差し込みやすくなります。



取り付けかた

4 給水ホースを接続する

- ① 止水栓に給水ホースの袋ナットを締め付ける
 ※付属のパッキンを袋ナットの内側に取り付けた状態にしてください。



給水ホースの長さが足りないときは・・・

リモデル現場などで、止水栓の位置が異なる場合は製品に取り付けている給水ホースでは長さが合わないことがあります。その場合は、下記の給水ホースをご購入ください。(付属の給水ホースの長さは約400mmです。)

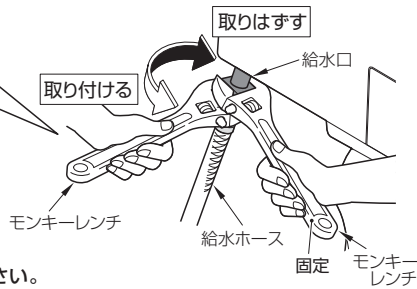
ホース長さ(mm)	品番	希望小売価格(税込)	お求めはTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター TEL: 0120-8282-55 FAX: 0120-8272-99 へご連絡ください。
700	D24034-1Z	¥2,200(¥2,310)	

※仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

給水ホースの取り付けかた

注意 給水口をモンキーレンチで固定して給水ホースの取りはずし・取り付けを行ってください。無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。

- ウォシュレット本体の給水口を斜めにして付属の給水ホースを取りはずす
- ウォシュレット本体の給水口を斜めにして長さ違いの給水ホースの袋ナットを締め付ける
 ※給水ホースの向きを間違えないよう確認してください。
- 止水栓に給水ホースの袋ナットを締め付ける(上記 4 給水ホースを接続する 参照)

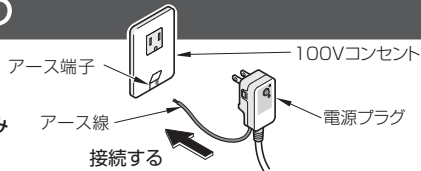


5 アース線を接続する

アース線をコンセントのアース端子に接続する

※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。

※コンセントに差し込む際、電源プラグにアース線をはさま込まないよう注意してください。ショートの原因になります。



6 電源プラグを確認する

注意 (オート開閉タイプのみ)

- 電源プラグを入れて最初に便ふたが開くとき、障害物に当たると次から便ふたが途中で止まる(閉まる)ことがあります。(3回続けて開いた位置を記憶します。)
 障害物を取り除いた状態で電源プラグを一度ははずしてもう一度差し込み、リモコンの「便ふた開閉スイッチ」を押してください。
- 電源プラグを入れて(または電源プラグの「入(リセット)」ボタンを押して)約10秒～約60秒間は準備運転を行うため、その間、便ふたは「オート開」しません。

6 電源プラグを確認する(つづき)

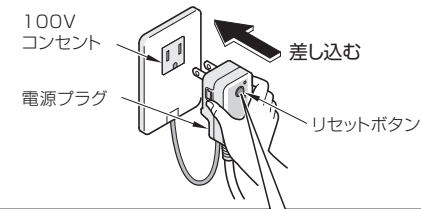
- ① 電源プラグを100V(50/60Hz)のコンセントに差し込む

ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認

ヒーター付便器の場合
(凍結のおそれがある場合のみ)

便器ヒーター用プラグをコンセントに差し込み、ウォシュレット用電源プラグを便器ヒーター用プラグに差し込んでください。

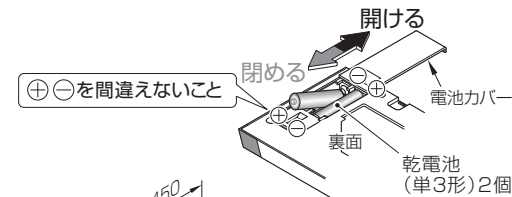
- ② 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する



「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
 「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する
 以上のように作動すれば正常です。
 「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
 ※テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。

7 リモコンを取り付ける

- ① リモコンの電池カバーを開け、乾電池を入れる
 ※同梱の乾電池を使用してください。



- ② 次の確認を行ってリモコン取付位置を決める

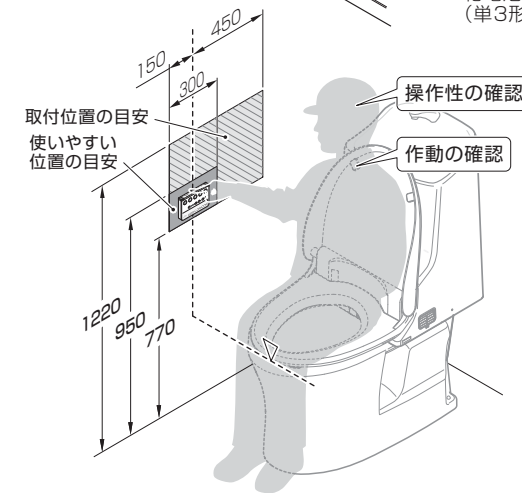
操作性の確認

便座に座った状態で操作を行い、取付位置を決めてください。

※室内の広さ、壁、材質などの条件により、リモコンの受信性能が変わることがあります。スイッチを押してノズルが伸縮することを数回確認してください。

作動の確認

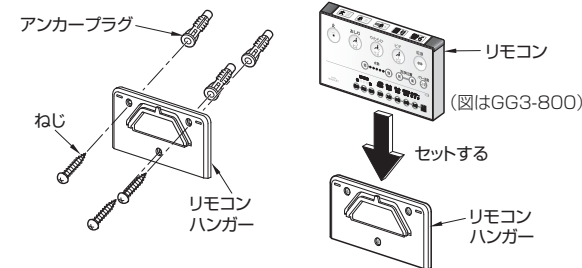
- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、図の取付位置の目安範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。



- ③ リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける

※ねじは必ず同梱のねじを使用してください。
 ※ハンガーは必ず3か所固定してください。

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイル壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



- ④ リモコンをリモコンハンガーにセットする

取り付けかた

試運転

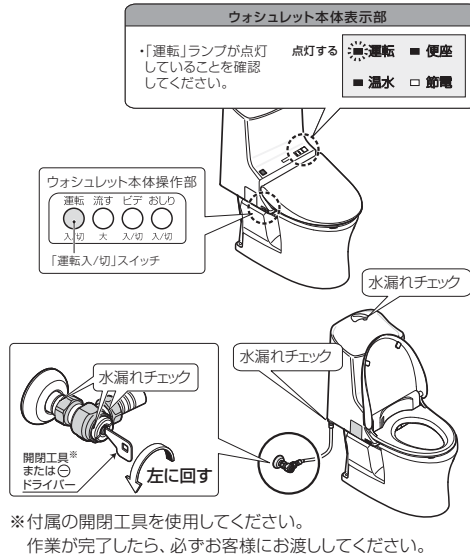
取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。

試運転前に必ず確認してください!

- 試運転の前および試運転完了時は必ず本体操作部「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。
(「入」のときは、ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)
- 「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。
- ※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。

1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか再確認する
- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
- ウォシュレット本体の給水接続部から水漏れがないことを確認する
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。



※付属の開閉工具を使用してください。
作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。

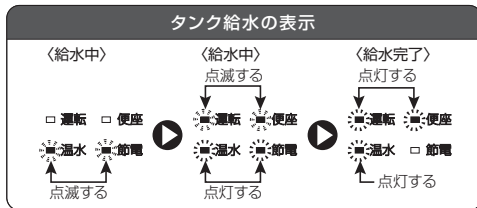
2 機能の確認

1 リモコンの便器洗浄機能を確認する

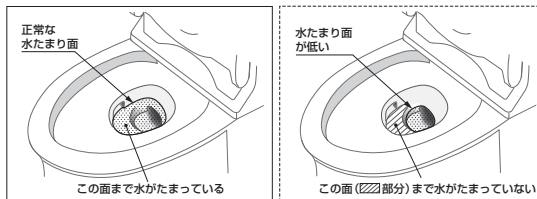
- リモコンの「便器洗浄」スイッチを押す
- 内蔵しているタンクに水が溜まり、便器洗浄を行います。
タンクに水が溜まるまで約60秒かかります。
- ▶ 便器の水が流れますか?
- ※タンク給水中は、ウォシュレット本体表示部のランプが点滅点灯します。
- 給水完了後、もう一度リモコンの「便器洗浄」スイッチを押して便器洗浄の確認を行ってください。



(図はGG3-800)



※タンク給水中に「ヒュー」という音がする場合は、給水圧が高くなっていますので、音が鳴らなくなるまで止水栓を少し右へ回してください。



水位の確認

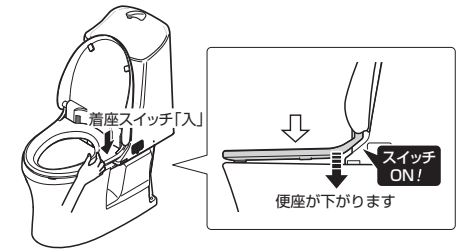
大洗浄のあと、便器の水たまり面が低くなっている場合は、洗浄水量の変更をしてください。

▶ 表紙 確認② 参照

2 機能の確認(つづき)

2 便座の右側を手で押し、着座スイッチを入れる

- 着座スイッチが「入」になると各機能がはたらきます。
- ※手で押したまま③の確認を行ってください。

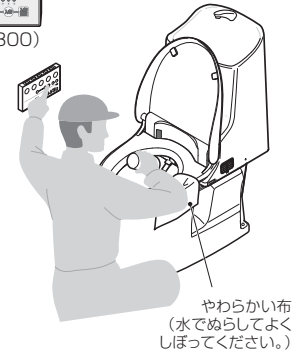


3 洗浄機能を確認する

- リモコンの①②③④を押す
- ▶ ノズルから適温の温水が出ますか?
(温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。)
- リモコンの水勢⑤⑥を押す ▶ 水勢が変化しますか?
- リモコンの⑦を押す ▶ 洗浄が止まりますか?



吐水は紙コップなどで受けてください。



4 便座を押した手ははずし、着座スイッチを切る

5 オート便器洗浄機能を確認する

- 便器を押した手ははずしてから、約10秒後に自動で便器洗浄しますか?



(男子小用時の確認)(人体検知センサーBのあるタイプのみ)

- 便座・便ふたを開け便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れたら約3秒後に自動で便器洗浄しますか?



※オート便器洗浄後、もう一度オート便器洗浄を確認するときは60秒以上間隔をあけてください。

2 機能の確認(つづき)

6 オート開閉機能を確認する(オート開閉タイプのみ)

- 一度便座・便ふたを閉めて便器から離れてください。
- 便ふたを閉めて約10秒後、便器の前に立つと便ふたが自動で開きますか？
- ※便ふたが自動で開かない場合は体を動かしてみてください。



- 便ふたが開いた後、便座を開けてください。
- 便器の前に立ち、その後便器から離れると約90秒後に便座、便ふたが自動で閉まりますか？



洗浄水量の切り替え

自治体によって洗浄水量の規制がある場合

- 大洗浄4.8L、小洗浄4L、(ECO小洗浄3.8L)仕様を下記水量に変更することができます。

大洗浄6L、小洗浄5L(eco小洗浄4L)仕様への切り替え方法 ※eco小洗浄なしのタイプもあります。

- ウォシュレット本体操作部の スイッチを押し「切」にする
 - ウォシュレット本体表示部のランプがすべて消灯します。
- ウォシュレット本体操作部の スイッチを「ピッ」という電子音が鳴るまで押し
 - 約10秒で電子音が鳴ります。
- 設定後は スイッチを「入」にする
(もとの仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ピーッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)



※この仕様に変更した場合、便器洗浄してから約1分後に便器水たまり面に約5秒間水が流れます。

大洗浄8L、小洗浄6L(eco小洗浄5L)仕様への切り替え方法 ※eco小洗浄なしのタイプもあります。

- ウォシュレット本体操作部の スイッチを押し「切」にする
 - ウォシュレット本体表示部のランプがすべて消灯します。
- ウォシュレット本体操作部の スイッチを「ピッ」という電子音が鳴るまで押し
 - 約10秒で電子音が鳴ります。
- 設定後は スイッチを「入」にする
(もとの仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ピーッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)



※この仕様に変更した場合、便器洗浄してから約1分後に便器水たまり面に約20秒間水が流れます。

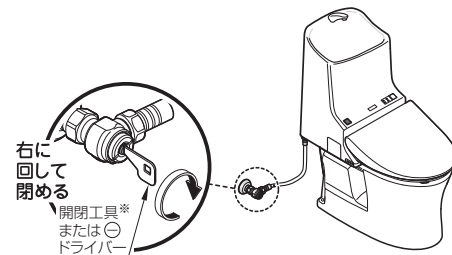
給水フィルターの掃除

給水フィルターが詰まると、適正な性能が得られません。試運転後に次の手順でフィルターの掃除をしてください。

【便器側】

1 止水栓を閉めて給水を止める

- リモコンの を押し、ノズルを伸出させた後、もう一度リモコンの を押し、ノズルを戻す(給水管内の圧抜きです。)



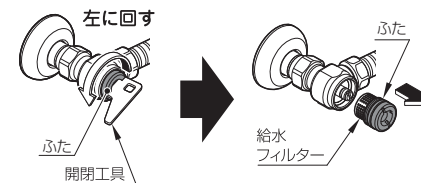
※付属の開閉工具をご使用ください。作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。

3 電源プラグを抜く

- 給水フィルターのふたを開閉工具で開けて、給水フィルターを取り出す

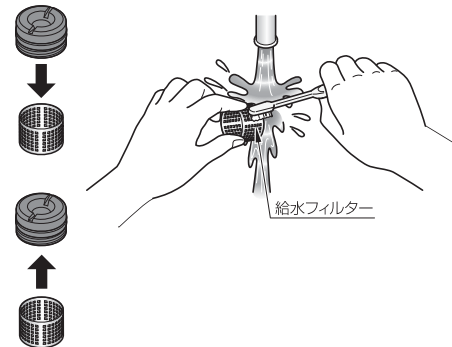
注意

止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない
・水が吹き出します。



- 給水フィルターをふたから取りはずし、掃除をする

- 小さなゴミは、歯ブラシなどを使って確実に取り除いてください。

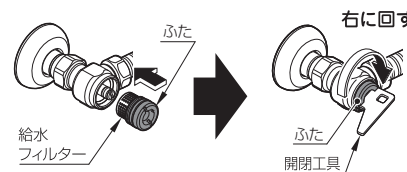


- 給水フィルターをふたに取り付ける

- 給水フィルターのふたをもとの位置に取り付け、開閉工具で締め付ける

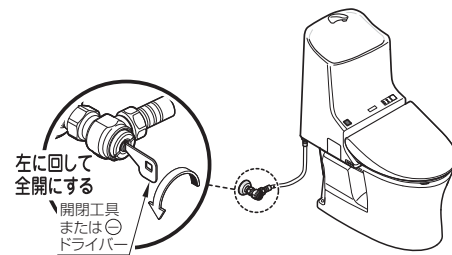
注意

給水フィルターは確実に締める
必ず守る
・確実に締めないと水漏れの原因になります。



- 止水栓を開ける

- 止水栓および配管接続部から水漏れしていないか確認してください。



- 電源プラグを差し込む

【ウォシュレット側】

① 止水栓を閉めて給水を止める (P13 給水フィルターの掃除【便器側】①項参照)

② リモコンの を押してノズルを伸出させた後、もう一度リモコンの を押してノズルを戻す (給水管内の圧抜きです。)

③ 電源プラグを抜く

④ カバーをははずす

⑤ 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめた後、引っ張ってははずす

△ 注意

止水栓を開けたまま給水フィルター付水抜栓をはずさない
禁止
・水が噴き出します。

⑥ フィルターを水洗いして小さなゴミを取る

- ウォシュレット本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。

⑦ 給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める

△ 注意

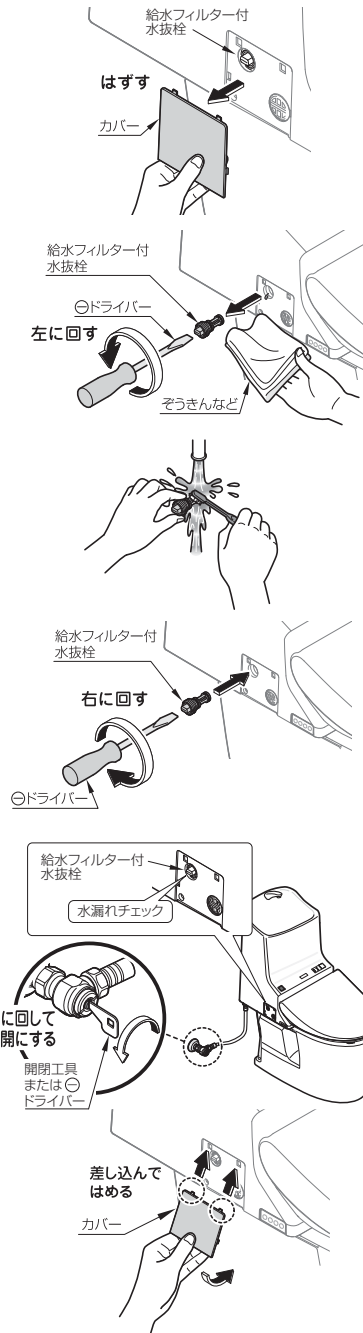
給水フィルター付水抜栓は確実に締める
必ず守る
・確実に締めないとき水漏れの原因になります。

⑧ 止水栓を開ける

- 給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていないか確認してください。

⑨ カバーを取り付ける

⑩ 電源プラグを差し込む



凍結のおそれがあるときの処置

次の手順で水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。

① 止水栓を閉める (流動方式の場合) または、水抜栓を操作して、給水を止める (ヒーター付便器・水抜併用方式の場合)

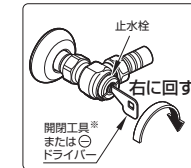
- ※ ヒーター付便器・水抜併用方式の場合は、止水栓は開けたままにしておいてください。

【止水栓の場合】

【水抜栓の場合】

② 配管の水を抜く

- (P14 給水フィルターの掃除【ウォシュレット側】②④⑤⑦の手順を行ってください。)

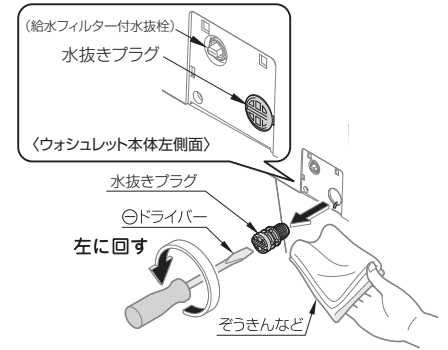


③ タンクの水を抜く

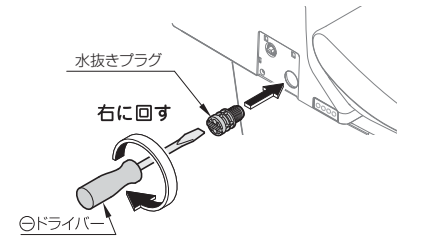
- ① リモコンの「大洗浄」スイッチを押す ※ 付属の開閉工具をご使用ください。作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。

④ ウォシュレット内の水を抜く

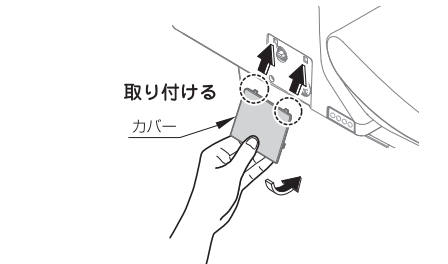
- ① 水抜きプラグをははずす
● ノズルの横側から水が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで約2分かかります。



② 水抜きプラグを取り付ける



③ カバーを取り付ける



⑤ 電源プラグを抜く

⑥ 便器の溜水を処置する

- 便器に残る溜水には、不凍液を入れておくとより安心できます。